



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

TEL 03-3235-0021

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

配当支払開始予定日

平成24年12月5日

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,267	△13.9	421	△37.9	401	△38.3	250	△35.2
24年3月期第2四半期	7,278	45.4	677	46.9	651	47.5	386	12.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 246百万円 (△33.3%) 24年3月期第2四半期 369百万円 (8.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.50	—
24年3月期第2四半期	31.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,950	4,199	38.4
24年3月期	10,404	4,014	38.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,199百万円 24年3月期 4,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年3月期	—	5.00	—	5.00	円 銭	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	円 銭	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	円 銭	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	△2.7	570	△42.8	540	△43.2	310	△51.3	25.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	13,029,500 株	24年3月期	13,029,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	810,212 株	24年3月期	809,055 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	12,219,955 株	24年3月期2Q	12,261,311 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要やエコカー補助金などの政策効果により、緩やかな回復傾向にありましたが、中国経済の減速や欧州債務危機の拡大懸念、長期化する円高の影響等もあり、景気の先行きについては、不確実性が高まっており、下振れリスクも懸念されています。

当社グループを取り巻く当第2四半期における事業環境は、厳しい状況の中でも自動車産業向けや一部電子部品向けが比較的堅調に推移し、好調であった前年同期と比べると減収、減益となりましたが、連結ベースでは期初予想を上回る利益を確保することができました。

その結果、当第2四半期の売上高は前年同期比1,010百万円減収（13.9%減収）の6,267百万円、営業利益は256百万円減益（37.9%減益）の421百万円、経常利益は249百万円減益（38.3%減益）の401百万円、四半期純利益は135百万円減益（35.2%減益）の250百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、4月中旬に上昇に転じましたが、6月以降は緩やかな下げ基調となり、当第2四半期の平均はトン当たり13,190ドルで、前年同期の15,416ドルに比して14.4%ダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、家電向けなどが低迷し、当第2四半期の販売数量は、前年同期比163トン減少（4.8%減少）の3,237トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、相場の下落と販売数量の減少により、720百万円減収（16.0%減収）の3,789百万円となりました。セグメント利益は、売上高減少が影響し、188百万円減益（50.0%減益）の189百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業においては、粉末冶金向け金属粉はエコカー補助金などの政策効果により緩やかながら回復しつつあるものの、前年同期並みの需要には至っておらず、電子部品向け微粉末金属粉についても、スマートフォン以外の電子部品関連需要が伸び悩んでいます。

用途別の販売状況の実績につきましては、粉末冶金向け金属粉の当第2四半期の販売数量は、前年同期比83トン減少（8.6%減少）の887トン、電子部品向け微粉末金属粉は、97トン減少（24.0%減少）の305トンとなり、全体では前年同期比180トン減少（13.1%減少）の1,192トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は285百万円減収（10.3%減収）の2,470百万円となりました。セグメント利益は、販売数量減少に加え、原材料価格の下落による販売価格の低下により、71百万円減益（25.5%減益）の209百万円となりました。

[その他]

当第2四半期不動産賃貸事業の売上高は7百万円（前年同期比36.7%減収）、セグメント利益は7百万円（前年同期比42.8%減益）でありました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,751百万円となり、前連結会計年度末と比べ441百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が334百万円、たな卸資産が351百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,193百万円となり前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が110百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,950百万円となり、前連結会計年度末と比べ545百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,054百万円となり、前連結会計年度末と比べ115百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が378百万円増加いたしました。その他に含まれる設備未払金が525百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,696百万円となり前連結会計年度末に比べ476百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加492百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、6,750百万円となり、前連結会計年度末と比べ360百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,199百万円となり、前連結会計年度末と比べ185百万円増

加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益により250百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は38.4%（前連結会計年度末は38.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、期初予想からの変更はありません。

当社グループを取り巻く当第2四半期における事業環境は、厳しい状況の中でも自動車産業向けや一部電子部品向け販売が比較的堅調であり、業績も順調に推移致しました。

第3及び第4四半期（平成24年10月～平成25年3月）においては、エコカー補助金終了等による政策効果の弱まり、中国等新興国の景気減速、欧州財政危機、長期化する円高の影響等もあり、景気の先行きについては、不確実性が高まっており、下振れリスクも懸念されています。当社グループの製品の主要な最終需要家である自動車産業、家電産業、電子部品産業等についても、需要の減退が予想されます。このように事業環境は更に厳しくなると予想されますが、営業力の強化及び経営の効率化を図ることにより、業績の向上を図ってまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28,126千円増加しております。

(4) 追加情報

（役員退職慰労引当金）

当社の連結子会社は、平成24年5月25日開催の定時株主総会において役員退職慰労金打ち切り支給の決議を致しました。これに伴い、決議時点での「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額の未払分については長期未払金として固定負債の「その他」に計上しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,499	1,973,943
受取手形及び売掛金	2,578,564	2,360,124
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	1,141,701	1,160,962
仕掛品	143,307	179,880
原材料及び貯蔵品	694,497	989,753
その他	119,397	93,397
貸倒引当金	△8,669	△7,837
流動資産合計	6,309,298	6,751,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	572,010	1,383,364
機械装置及び運搬具（純額）	347,979	946,681
土地	1,478,590	1,478,590
その他（純額）	1,385,333	85,823
有形固定資産合計	3,783,914	3,894,461
無形固定資産	50,318	48,693
投資その他の資産	254,675	250,577
固定資産合計	4,088,909	4,193,732
繰延資産	6,033	5,278
資産合計	10,404,240	10,950,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977,176	1,355,231
短期借入金	1,925,700	2,039,600
未払法人税等	137,472	149,043
賞与引当金	103,021	103,024
その他	1,026,667	407,381
流動負債合計	4,170,038	4,054,281
固定負債		
社債	302,000	288,000
長期借入金	1,436,600	1,928,600
退職給付引当金	301,249	318,976
その他の引当金	12,287	—
負ののれん	32,405	16,596
資産除去債務	35,687	35,069
その他	99,417	109,099
固定負債合計	2,219,647	2,696,340
負債合計	6,389,686	6,750,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,596,217	2,785,684
自己株式	△146,171	△146,433
株主資本合計	4,032,897	4,222,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,343	△22,488
その他の包括利益累計額合計	△18,343	△22,488
純資産合計	4,014,554	4,199,614
負債純資産合計	10,404,240	10,950,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,278,034	6,267,468
売上原価	6,190,819	5,419,138
売上総利益	1,087,215	848,330
販売費及び一般管理費	409,221	427,249
営業利益	677,993	421,080
営業外収益		
受取配当金	1,270	1,016
負ののれん償却額	15,809	15,809
助成金収入	715	4,584
その他	4,430	4,292
営業外収益合計	22,225	25,702
営業外費用		
支払利息	29,565	28,626
為替差損	9,270	8,046
その他	9,768	8,200
営業外費用合計	48,605	44,873
経常利益	651,613	401,909
特別損失		
固定資産売却損	44	2,881
固定資産除却損	1,500	4,194
子会社清算損	611	—
ゴルフ会員権売却損	—	3,376
特別損失合計	2,156	10,452
税金等調整前四半期純利益	649,457	391,456
法人税、住民税及び事業税	127,776	147,895
法人税等調整額	135,268	△7,008
法人税等合計	263,045	140,887
少数株主損益調整前四半期純利益	386,412	250,569
四半期純利益	386,412	250,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386,412	250,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,018	△4,145
その他の包括利益合計	△17,018	△4,145
四半期包括利益	369,393	246,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,393	246,423

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,510,187	2,755,480	7,265,668	12,365	7,278,034	—	7,278,034
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	22,091	22,091	990	23,081	△23,081	—
計	4,510,187	2,777,571	7,287,759	13,355	7,301,115	△23,081	7,278,034
セグメント利益	378,130	280,653	658,784	12,852	671,636	6,356	677,993

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額6,356千円はセグメント間取引の消去6,356千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,789,276	2,470,367	6,259,643	7,825	6,267,468	—	6,267,468
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	15,547	15,547	—	15,547	△15,547	—
計	3,789,276	2,485,914	6,275,190	7,825	6,283,016	△15,547	6,267,468
セグメント利益	189,154	209,134	398,289	7,352	405,641	15,438	421,080

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額15,438千円はセグメント間取引の消去15,438千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4. 会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ「アンチモン事業」で2,880千円、「金属粉末事業」で25,246千円増加しております。